美濃市中学校制服見直しの経緯

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　美濃市教育委員会

 Ⅰ 詰め襟・セーラー型制服が問題視されるようになった社会的背景

　１．問題視の発端は不明

　２．文科省が調査を実施(2014年)

「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査について」

|  |
| --- |
| 児童生徒本人が性別違和感を持ち、かつ児童生徒本人又は保護者が性同一性障害であるとの認識を有しているケース数の実態を調査。 ＜結果＞ 子供が自分の性別に違和感を持ち、学校に相談した例は606件（小学校93件　中学校110件　高校403件（この約６割は保護者や他の生徒に相談できていない） |

　３．LGBTにQを追加 … 多様性に不確実性・流動性

　レズ、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング

Questioning ＝ 性自認や性的指向が定まっていない、定めていない

　４．福岡県弁護士会「LGBTと制服」シンポジウム開催(2017年)

　①　自分の性自認と異なる制服の着用がストレスになり、不登校の原因にもなっている。

②　異性婚や異性愛を前提としている教材や、不適切な教員の発言など課題は残る。

③　今後の制服は、ア,生徒の選択肢を増やす　イ,選択しても周囲から浮かない配慮をする

　ウ,カミングアウトを必要としない環境を整える　等が求められる。

④　「相談があったら個別に対応する」という対処法では、子供にカミングアウトを強要することになりかねない。「事情を言っても言わなくても安心して学校に来られる環境づくりが必要」である。選べるようにすることで、すべての生徒が学校に行きやすくなる。

 Ⅱ 美濃市の具体的な動き(１)　2021年度

　　１．制服見直しに関する美濃市連合ＰＴＡの議論(2021.12.15)

令和３年度 第４回市連Ｐ会長会・母親委員会

〔校長会代表〕

市内中学校の生徒の中にも、心の性と身体の性の違いに悩み、心の性と合わない制服を着ることに嫌悪感をもち、行事への参加を取りやめるという事案が複数あった。

〔進行・市連Ｐ会長〕

トランスジェンダーであることに悩みを持つ子とその親のために、自分たちに何ができるのか意見を聞きたくてこの時間をとっている。意見を聞かせてほしい。

〔進行・市連Ｐ会長のまとめ〕

今は、「ブレザー、スラックス」の選択ができるようにするという流れがあるみたいだが、それが正しいとは言い切れない。単位ＰＴＡと学校に持ち帰り、話題にしてもらいたい。

　２．制服見直しに関する美濃市連合ＰＴＡの議論(2022.03.07)

　　令和３年度 第５回市連Ｐ会長会

＜議論された意見の一部＞

① LGBTへの対応が求められ、制服のブレザー化という全国的な動きも承知している

② 制服を見直すよいタイミング。最近はコロナ禍で制服着用の機会が少ない。

③ LGBTへの配慮が根底に、表向きは「新しい時代への節目」と打って出れば受け入れられる

④ 制服無しは、「自由」という言葉の響きはよいが、現実は難しく生徒も親も望まない

〔進行・市Ｐ連会長のまとめ〕

市連Ｐの中で３回にわたって話し合い、各学校ＰＴＡにも持ち帰って議論を深めてもらった。

令和４年度は「検討委員会」を立ち上げ、制服見直しを具体化してもらいたい。

|  |
| --- |
| ＜令和３年度美濃市連合ＰＴＡ会長会　意見総括・中核的意見＞ＬＧＢＴ等性的マイノリティーの生徒への配慮という喫緊の課題に対応すべく、制服を見直す動きを具体化することに賛同する |

 Ⅲ 美濃市の具体的な動き(２)　2022年度

　１．美濃市中学校制服検討委員会における審議(2022年9～12月)

　（１）委員　市民の立場を代表する学校運営協議会推薦 ２名　　各小中学校ＰＴＡ推薦 ７名

　　　　　　　美濃市小中学校長会代表 ２名　計11名

　（２）活動

　　　① 美濃市中学校制服検討委員会　第１回　令和４年９月６日(火)　１９:００～

|  |
| --- |
| 【教育長諮問】障がいや性に関係なく、誰もが自分らしく生活する権利が守られるような服装のあり方について検討いただきたい１．中学校で身に着ける服装の基準（ドレスコード）を作成し、それに照らして保護者や生徒が考えて購入した服装を着用する【基準型】２．着用可能な制服見本を具体的に提示し、その中から保護者や生徒が選択購入して着用する【選択型】 |

　　　〇 訪問研修（３回企画）

　　9/20 岐阜市立厚見中学校　10/5 関市立緑ヶ丘中学校　10/28 各務原市立蘇原中学校

　　　　　〇 意見交流研修（３回企画）

　　　　　　　　11/17 第１回交流　　11/22 第２回交流　　11/30 第３回交流

　　　② 美濃市中学校制服検討委員会　第２回　令和４年１２月１４日(水)　１９:００～

　　　③ 美濃市中学校制服検討委員会　第３回　令和４年１２月２２日(木)　１９:００～

|  |
| --- |
| 【答申】美濃市内中学校の新しい制服は、着用可能な制服見本を具体的に提示し、その中から保護者や生徒が選択購入して着用する選択型とする。なお、制服に関して個別の配慮を希望する生徒や保護者には、小中学校が相談体制を整えて対応する。 |

○答申が案の段階で合わせて検討された意見

|  |
| --- |
| 美濃市内中学校の新しい制服は、着用可能な制服見本を具体的に提示し、その中から保護者や生徒が選択購入して着用する選択型とする。なお、制服に関して個別の配慮を希望する場合は、制服見本と同様なものを家庭で準備し着用することができる。 |

　２．美濃市教育委員会定例会における審議(2022年9月～2023年1月)

　（１）定例会の内容に加えて、中学校制服の在り方についても検討

　（２）美濃市中学校制服検討委員会の訪問研修・意見交流研修に自主的参加

　（３）教育委員会としての意向をまとめた

　３．市民の意見集約(2022年10月)

　（１）『美濃市広報10月1日号』に意見募集記事を掲載

　　　　市民231名から寄せられた意見

①　制服の基準を作成し、保護者や生徒が基準に合うものを考えて購入　74件　32％　　　②　制服見本を具体的に決定・提示し、見本の中から選んで購入　　　　　115件　50％　③　①②に当てはまらない意見　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 42 件　18％

　４．美濃市教育委員会の基本姿勢を決定(2023年2月)

【基本姿勢】

|  |
| --- |
| 美濃市中学校の新制服は、中学校が新たに提示する標準服の中から上下の組み合わせを選択して購入することを基本とするが、提示した制服に類似したものであれば、保護者や生徒が準備したものを着用してもよい。併せて、現在着用している制服についても継続着用を認める。 |

特徴① 中学校が提示する標準服から上下の組み合わせを選択して購入することを基本とする

　　　特徴② 標準服に類似したものであれば、保護者や生徒が準備したものを着用してもよい

　　　特徴③ 現在着用している制服についても継続着用を認める

 Ⅳ 今後の新制服準備　2023年度

　＜新制服導入のねらい＞

変化し続ける社会に対応した新たな学校教育が始まることを示すとともに、多様性のある社会に対応する制服とする。（市制70周年の節目も活かしたい）

＜社会的背景＞

　　・強くなる社会の個別化・個性化傾向

授業：生徒一人一台のタブレットPC、個々の理解度や意欲・興味・関心に応える展開

運動：多種多様な種目に広がる生徒の興味関心＋少子化 … 従来の部活動種目の部員減少

・育てたい社会性（成長に必要な力）

自分とは異なる仲間の存在を認め、仲間と共に高まり合う機会を意図的に設けること

主体的に考え、判断し、行動する力を身に付ける

＜教育の方向性＞

多様な価値観を認め尊重し合う教育を推進することにより、社会的な変化や困難を乗り越えることのできる持続可能な社会の担い手を育成したい。

【今後の進め方】

・この基本姿勢を受けた制服の具体的な規定づくりを開始する（市内２中学校が同一歩調で）

⇒ これまでの制服、標準服、家庭で準備した服が混在する中学校に

⇒ スラックスやスカートの着用が性別を超えて認められる中学校に

一人一人の姿は異なっても、すべての生徒がそれで良く

お互いがその良さを認め、個々の良さを発揮して高まる集団となることを願う

・性、病気、障がい、体形などを気にかけている生徒を含め、すべての生徒にやさしい制服の見直し